

高圧ガス関係事故集計  
(平成29年12月末現在)

平成30年3月

**表 1 高圧ガス事故統計集計表  
(平成29年12月末現在)**

1. 年別及び月別事故(累計) <sup>〔注1〕</sup>

年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1月	67	87	65	92	101	122	76	76	53	68	73
2月	48	88	63	71	77	93	62	57	62	61	65
3月	62	64	67	84	167	65	79	62	78	85	60
4月	56	63	59	79	69	60	66	68	81	138	55
5月	37	56	78	69	68	75	64	66	60	81	66
6月	78	66	83	73	81	76	66	67	66	64	63
7月	62	71	75	73	79	112	66	58	70	77	79
8月	56	61	71	87	77	64	73	82	54	84	63
9月	68	63	57	103	150	70	61	54	50	62	52
10月	58	75	67	88	85	77	83	59	66	88	61
11月	65	75	89	66	75	76	76	70	56	69	63
12月	79	79	81	80	55	68	66	74	63	70	56
合計	736	848	855	965	1084	958	838	793	759	947	756
対前年比 <sup>〔注2〕</sup>	32.4	15.2	0.8	12.9	12.3	▲ 11.6	▲ 12.5	▲ 5.4	▲ 4.3	24.8	▲ 20.2

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注2〕 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成29年のみ集計月までの増減分としている。

**表 1-1 高圧ガス事故統計集計表【災害】  
(平成29年12月末現在)**

1. 年別及び月別事故(累計) <sup>〔注1〕</sup>

年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1月	18	23	28	31	42	32	32	21	24	45	44
2月	18	31	21	24	27	42	31	32	27	37	41
3月	24	25	21	25	105	26	31	32	46	45	39
4月	15	20	20	32	33	33	27	36	47	47	36
5月	14	29	29	25	33	41	32	31	40	61	42
6月	36	34	41	40	44	42	35	34	47	42	48
7月	34	40	33	33	41	41	37	31	49	54	50
8月	29	33	32	45	44	39	43	45	42	51	46
9月	28	33	23	57	33	34	22	35	20	50	39
10月	24	24	28	44	29	37	43	26	37	58	46
11月	26	23	26	25	38	35	37	30	44	43	42
12月	22	35	25	25	21	27	24	34	34	43	36
合計	288	350	327	406	490	429	394	387	457	576	509
対前年比 <sup>〔注2〕</sup>	47.7	21.5	▲ 6.6	24.2	20.7	▲ 12.4	▲ 8.2	▲ 1.8	18.1	26.0	▲ 11.6

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【災害】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第1号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成29年のみ集計月までの増減分としている。

**表 1 - 2 高圧ガス事故統計集計表【喪失・盗難】**  
(平成29年12月末現在)

1. 年別及び月別事故 (累計) <sup>[注1]</sup>

年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1月	49	64	37	61	59	90	44	55	29	23	29
2月	30	57	42	47	50	51	31	25	35	24	24
3月	79	121	79	108	109	141	75	80	64	47	53
4月	38	39	46	59	62	39	48	30	32	40	21
5月	117	160	125	167	171	180	123	110	96	87	74
6月	41	43	39	47	36	27	39	32	34	91	19
7月	158	203	164	214	207	207	162	142	130	178	93
8月	23	27	49	44	35	34	32	35	20	20	24
9月	181	230	213	258	242	241	194	177	150	198	117
10月	42	32	42	33	37	34	31	33	19	22	15
11月	223	262	255	291	279	275	225	210	169	220	132
12月	28	31	42	40	38	71	29	27	21	23	29
合計	251	293	297	331	317	346	254	237	190	243	161
対前年比 <sup>[注2]</sup>	24.1	11.2	6.0	5.9	6.3	▲ 10.9	▲ 16.1	▲ 8.6	▲ 25.6	22.8	▲ 33.4

[注1] 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【喪失・盗難】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第2号に規定する場合をいう。

[注2] 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成29年のみ集計月までの増減分としている。

**表2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)**  
(平成29年12月末現在)

区分		年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
製 造 事 業 所	冷 凍		125	147	139	188	271	(237)
	コンビナート		56	39	47	44	45	(43)
	L P		21	24	18	17	22	(10)
	一 般		104	82	72	81	125	(123)
	計		306	292	276	330	463	(413)
移 動			30	46	31	24	23	(17)
消 費			609	487	479	381	445	(307)
そ の 他			13	13	7	24	16	(19)
合 計			958	838	793	759	947	(756)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表2-1 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【災害】**  
(平成29年12月末現在)

区分		年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
製 造 事 業 所	冷 凍		125	147	139	188	271	(237)
	コンビナート		56	39	47	44	45	(43)
	L P		21	23	18	17	20	(9)
	一 般		102	81	72	81	124	(123)
	計		304	290	276	330	460	(412)
移 動			29	42	31	24	23	(16)
消 費			83	52	73	83	80	(66)
そ の 他			13	10	7	20	13	(15)
合 計			429	394	387	457	576	(509)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表2-2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【喪失・盗難】**  
(平成29年12月末現在)

区分		年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
製 造 事 業 所	冷 凍		0	0	0	0	0	(0)
	コンビナート		0	0	0	0	0	(0)
	L P		0	1	0	0	2	(1)
	一 般		2	1	0	0	1	(0)
	計		2	2	0	0	3	(1)
移 動			1	4	0	0	0	(1)
消 費			526	435	406	298	365	(241)
そ の 他			0	3	0	4	3	(4)
合 計			529	444	406	302	371	(247)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計
平成29年	(23)	(19)	(38)	(80)	(102)	(26)	(26)	(47)	(35)	(7)	(243)	(0)	(8)	(2)	(10)	(34)	(3)	(37)	(23)	(19)	(144)	(200)	(386)	(756)
平成28年	28	14	34	76	109	20	41	59	43	11	283	1	13	1	15	43	9	52	84	22	149	266	521	947
平成27年	54	10	24	88	91	31	16	31	29	21	219	3	6	1	10	42	6	48	8	17	93	276	394	759
平成26年	53	14	19	86	77	19	11	29	26	17	179	0	15	6	21	33	6	39	24	16	84	344	468	793
平成25年	38	14	23	75	79	28	18	23	33	19	200	0	15	1	16	50	4	54	7	18	57	411	493	838
平成24年	36	11	10	57	66	65	8	28	31	12	210	0	13	1	14	69	13	82	53	14	68	460	595	958

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-1 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計
平成29年	(23)	(19)	(38)	(80)	(102)	(26)	(26)	(47)	(35)	(7)	(243)	(0)	(8)	(2)	(10)	(34)	(3)	(37)	(3)	(19)	(117)	(0)	(139)	(509)
平成28年	28	14	34	76	109	20	41	59	43	11	283	1	13	1	15	43	9	52	8	22	120	0	150	576
平成27年	54	10	24	88	91	31	16	31	29	21	219	3	6	1	10	42	6	48	4	17	71	0	92	457
平成26年	53	14	19	86	77	19	11	29	26	17	179	0	15	6	21	33	6	39	6	16	40	0	62	387
平成25年	38	14	23	75	79	28	18	23	33	19	200	0	15	1	16	50	4	54	3	18	28	0	49	394
平成24年	36	11	10	57	66	65	8	28	31	12	210	0	13	1	14	69	13	82	11	14	41	0	66	429

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-2 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計
平成29年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(20)	(0)	(27)	(200)	(247)	(247)
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	29	266	371	371
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	22	276	302	302
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	44	344	406	406
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	29	411	444	444
平成24年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	27	460	529	529

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 4 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)**

(平成29年12月末現在)

業種 年	石 油 精 製	石 油 化 学	一 般 化 学	冷 凍 事 業 所	充 填 所	容 器 検 査 所	そ の 他	合 計
平成29年	(22)	(12)	(28)	(205)	(35)	(1)	(110)	(413)
平成28年	19	11	27	226	57	1	122	463
平成27年	16	10	21	181	15	0	87	330
平成26年	17	10	20	139	6	1	83	276
平成25年	16	8	15	147	9	0	97	292
平成24年	29	14	20	125	11	0	107	306

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 4-1 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【災害】**

(平成29年12月末現在)

業種 年	石 油 精 製	石 油 化 学	一 般 化 学	冷 凍 事 業 所	充 填 所	容 器 検 査 所	そ の 他	合 計
平成29年	(22)	(12)	(28)	(205)	(35)	(1)	(109)	(412)
平成28年	19	11	27	226	55	1	121	460
平成27年	16	10	21	181	15	0	87	330
平成26年	17	10	20	139	6	1	83	276
平成25年	16	8	15	147	8	0	96	290
平成24年	29	14	20	125	10	0	106	304

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 4-2 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【喪失・盗難】**

(平成29年12月末現在)

業種 年	石 油 精 製	石 油 化 学	一 般 化 学	冷 凍 事 業 所	充 填 所	容 器 検 査 所	そ の 他	合 計
平成29年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)
平成28年	0	0	0	0	2	0	1	3
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年	0	0	0	0	1	0	1	2
平成24年	0	0	0	0	1	0	1	2

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計
平成29年	(22)	(18)	(36)	(76)	(101)	(24)	(20)	(41)	(33)	(2)	(221)	(0)	(6)	(2)	(8)	(19)	(0)	(19)	(1)	(2)	(85)	(1)	(89)	(413)
平成28年	27	14	34	75	108	19	34	57	41	2	261	0	6	0	6	23	2	25	8	0	87	1	96	463
平成27年	50	8	21	79	87	30	4	29	28	6	184	2	2	0	4	16	3	19	2	1	41	0	44	330
平成26年	47	14	18	79	76	18	0	22	26	1	143	0	12	3	15	20	0	20	1	1	17	0	19	276
平成25年	36	13	22	71	74	27	0	21	30	3	155	0	8	1	9	31	0	31	2	0	22	2	26	292
平成24年	35	9	9	53	64	52	0	24	30	2	172	0	10	0	10	41	0	41	4	0	25	1	30	306

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-1 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計
平成29年	(22)	(18)	(36)	(76)	(101)	(24)	(20)	(41)	(33)	(2)	(221)	(0)	(6)	(2)	(8)	(19)	(0)	(19)	(1)	(2)	(85)	(0)	(88)	(412)
平成28年	27	14	34	75	108	19	34	57	41	2	261	0	6	0	6	23	2	25	7	0	86	0	93	460
平成27年	50	8	21	79	87	30	4	29	28	6	184	2	2	0	4	16	3	19	2	1	41	0	44	330
平成26年	47	14	18	79	76	18	0	22	26	1	143	0	12	3	15	20	0	20	1	1	17	0	19	276
平成25年	36	13	22	71	74	27	0	21	30	3	155	0	8	1	9	31	0	31	2	0	22	0	24	290
平成24年	35	9	9	53	64	52	0	24	30	2	172	0	10	0	10	41	0	41	4	0	24	0	28	304

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-2 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計
平成29年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	3
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
平成24年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表6 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)**  
(平成29年12月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成29年	(7)	(1)	(9)	(17)
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24
平成26年	11	1	19	31
平成25年	27	0	19	46
平成24年	15	2	13	30

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表6-1 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】**  
(平成29年12月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成29年	(6)	(1)	(9)	(16)
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24
平成26年	11	1	19	31
平成25年	24	0	18	42
平成24年	15	2	12	29

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表6-2 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】**  
(平成29年12月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成29年	(1)	(0)	(0)	(1)
平成28年	0	0	0	0
平成27年	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0
平成25年	3	0	1	4
平成24年	0	0	1	1

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
平成29年	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(3)	(0)	(1)	(0)	(1)	(2)	(0)	(2)	(0)	(6)	(3)	(0)	(9)	(17)
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24
平成26年	6	0	1	7	0	1	2	1	0	5	9	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	0	14	31
平成25年	2	1	0	3	5	1	4	0	2	2	14	0	2	0	2	6	0	6	0	16	2	3	21	46
平成24年	1	0	1	2	2	4	0	1	1	0	8	0	0	0	0	4	2	6	0	11	3	0	14	30

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-1 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
平成29年	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(3)	(0)	(1)	(0)	(1)	(2)	(0)	(2)	(0)	(6)	(2)	(0)	(8)	(16)
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24
平成26年	6	0	1	7	0	1	2	1	0	5	9	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	0	14	31
平成25年	2	1	0	3	5	1	4	0	2	2	14	0	2	0	2	6	0	6	0	16	1	0	17	42
平成24年	1	0	1	2	2	4	0	1	1	0	8	0	0	0	0	4	2	6	0	11	2	0	13	29

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-2 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
平成29年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	4
平成24年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 8 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)**

(平成29年12月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
平成29年	(26)	(249)	(1)	(11)	(0)	(20)	(307)
平成28年	34	376	1	13	1	20	445
平成27年	41	305	0	11	1	23	381
平成26年	46	404	1	15	1	12	479
平成25年	54	386	2	22	0	23	487
平成24年	63	521	0	7	0	18	609

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

**表 8-1 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【災害】**

(平成29年12月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
平成29年	(12)	(36)	(1)	(3)	(0)	(14)	(66)
平成28年	16	41	1	7	1	14	80
平成27年	21	39	0	4	1	18	83
平成26年	19	40	1	2	1	10	73
平成25年	10	26	2	3	0	11	52
平成24年	34	37	0	2	0	10	83

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガスによる災害の場合は、アセチレンによる災害としている。

**表 8-2 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【喪失・盗難】**

(平成29年12月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
平成29年	(14)	(213)	(0)	(8)	(0)	(6)	(241)
平成28年	18	335	0	6	0	6	365
平成27年	20	266	0	7	0	5	298
平成26年	27	364	0	13	0	2	406
平成25年	44	360	0	19	0	12	435
平成24年	29	484	0	5	0	8	526

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表9 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
平成29年	(1)	(0)	(1)	(2)	(1)	(2)	(5)	(5)	(2)	(0)	(15)	(0)	(1)	(0)	(1)	(11)	(1)	(12)	(22)	(11)	(46)	(198)	(277)	(307)
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	76	12	51	264	403	445
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	6	6	43	273	328	381
平成26年	0	0	0	0	1	0	7	6	0	8	22	0	3	1	4	13	5	18	23	7	61	344	435	479
平成25年	0	0	0	0	0	0	14	2	1	8	25	0	5	0	5	12	3	15	5	2	30	405	442	487
平成24年	0	2	0	2	0	9	8	3	0	8	28	0	3	1	4	21	7	28	48	2	38	459	547	609

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-1 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
平成29年	(1)	(0)	(1)	(2)	(1)	(2)	(5)	(5)	(2)	(0)	(15)	(0)	(1)	(0)	(1)	(11)	(1)	(12)	(2)	(11)	(23)	(0)	(36)	(66)
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	1	12	25	0	38	80
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	2	6	22	0	30	83
平成26年	0	0	0	0	1	0	7	6	0	8	22	0	3	1	4	13	5	18	5	7	17	0	29	73
平成25年	0	0	0	0	0	0	14	2	1	8	25	0	5	0	5	12	3	15	1	2	4	0	7	52
平成24年	0	2	0	2	0	9	8	3	0	8	28	0	3	1	4	21	7	28	6	2	13	0	21	83

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-2 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成29年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
平成29年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(20)	(0)	(23)	(198)	(241)	(241)
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	26	264	365	365
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	21	273	298	298
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	44	344	406	406
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	26	405	435	435
平成24年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	25	459	526	526

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表10 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)**  
(平成29年12月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
平成29年	(0)	(3)	(1)	(15)	(19)
平成28年	0	1	0	14	15
平成27年	0	0	0	24	24
平成26年	0	3	0	4	7
平成25年	0	0	3	10	13
平成24年	0	2	0	9	11

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表10-1 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【災害】**  
(平成29年12月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
平成29年	(0)	(3)	(1)	(11)	(15)
平成28年	0	1	1	11	13
平成27年	0	0	0	20	20
平成26年	0	3	0	4	7
平成25年	0	0	3	7	10
平成24年	0	2	2	9	13

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表10-2 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【喪失・盗難】**  
(平成29年12月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
平成29年		(0)		(4)	(4)
平成28年		(0) 0		(3) 3	(3) 3
平成27年		(0) 0		(4) 4	(4) 4
平成26年		(0) 0		(0) 0	(0) 0
平成25年		(0) 0		(3) 3	(3) 3
平成24年		(0) 0		(0) 0	(0) 0

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11 現象別区分による分析(最近6年間)

(平成29年12月末現在)

年 現象	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者												
爆 発	7	2	26	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(3)	(0)	(3)
火 災	20	0	5	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	(0)	(4)
噴出漏洩	360	0	36	365	2	29	350	2	59	415	2	44	533	1	35	(486)	(1)	(26)
破裂・破壊	38	1	7	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	(0)	(2)
そ の 他	533	0	12	449	0	8	408	1	8	310	0	10	380	2	0	(252)	(0)	(2)
合 計	958	3	86	838	2	44	793	3	73	759	2	68	947	4	51	(756)	(1)	(37)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-1 現象別区分による分析(最近6年間)【災害】

(平成29年12月末現在)

年 現象	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者												
爆 発	7	2	26	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(3)	(0)	(3)
火 災	20	0	5	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	(0)	(4)
噴出漏洩	360	0	36	365	2	29	350	2	59	415	2	44	533	1	35	(486)	(1)	(26)
破裂・破壊	38	1	7	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	(0)	(2)
そ の 他	4	0	12	5	0	8	2	1	8	8	0	10	9	2	0	(5)	(0)	(2)
合 計	429	3	86	394	2	44	387	3	73	457	2	68	576	4	51	(509)	(1)	(37)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-2 現象別区分による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成29年12月末現在)

年 現象	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者												
爆 発																		
火 災																		
噴出漏洩																		
破裂・破壊																		
そ の 他	529	0	0	444	0	0	406	0	0	302	0	0	371	0	0	(247)	(0)	(0)
合 計	529	0	0	444	0	0	406	0	0	302	0	0	371	0	0	(247)	(0)	(0)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表11 現象別区分による分析（最近6年間）

（平成29年12月末現在）

年 現象	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者													
爆 発	7	2	26	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(3)	(0)	(3)	
火 災	20	0	5	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	(0)	(4)	
漏 え い	漏えい①	175	0	3	175	0	4	171	0	2	215	0	4	241	0	2	(246)	(0)	(1)
	漏えい②	109	0	17	89	0	4	83	2	29	101	0	3	176	0	18	(137)	(0)	(8)
	漏えい③	76	0	16	101	2	21	96	0	28	99	2	37	116	1	15	(103)	(1)	(17)
計	360	0	36	365	2	29	350	2	59	415	2	44	533	1	35	(486)	(1)	(26)	
破裂・破壊	38	1	7	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	(0)	(2)	
そ の 他	533	0	12	449	0	8	408	1	8	310	0	10	380	2	0	(252)	(0)	(2)	
合 計	958	3	86	838	2	44	793	3	73	759	2	68	947	4	51	(756)	(1)	(37)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

別表11-1 現象別区分による分析（最近6年間）【災害】

（平成29年12月末現在）

年 現象	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者													
爆 発	7	2	26	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(3)	(0)	(3)	
火 災	20	0	5	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	(0)	(4)	
漏 え い	漏えい①	175	0	3	175	0	4	171	0	2	215	0	4	241	0	2	(246)	(0)	(1)
	漏えい②	109	0	17	89	0	4	83	0	29	101	0	3	176	0	18	(137)	(0)	(8)
	漏えい③	76	0	16	101	2	21	96	0	28	99	2	37	116	1	15	(103)	(1)	(17)
計	360	0	36	365	2	29	350	0	59	415	2	44	533	1	35	(486)	(1)	(26)	
破裂・破壊	38	1	7	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	(0)	(2)	
そ の 他	4	0	12	5	0	8	2	1	8	8	0	10	9	2	0	(5)	(0)	(2)	
合 計	429	3	86	394	2	44	387	1	73	457	2	68	576	4	51	(509)	(1)	(37)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

表12 人的被害の推移(最近6年間)

(平成29年12月末現在)

区分 年	人身事 故件数	死 亡 (名)	重 傷 (名)	軽 傷 (名)	死傷者 合 計
平成29年	(30)	(1)	(7)	(30)	(38)
平成28年	40	4	7	44	55
平成27年	50	2	12	56	70
平成26年	31	3	9	64	76
平成25年	36	2	10	34	46
平成24年	43	3	14	72	89

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表13 事故等級別事故発生件数(最近6年間)**  
(平成29年12月末現在)

年 級	A級	B級	C級	合 計
平成29年	(0)	(10)	(746)	(756)
平成28年	0	11	936	947
平成27年	0	41	718	759
平成26年	0	44	749	793
平成25年	0	43	795	838
平成24年	1	56	901	958

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表13-1 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【災害】**  
(平成29年12月末現在)

年 級	A級	B級	C級	合 計
平成29年	(0)	(10)	(499)	(509)
平成28年	0	11	565	576
平成27年	0	41	416	457
平成26年	0	44	343	387
平成25年	0	43	351	394
平成24年	1	56	372	429

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表13-2 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【喪失・盗難】**  
(平成29年12月末現在)

年 級	A級	B級	C級	合 計
平成29年	(0)	(0)	(247)	(247)
平成28年	0	0	371	371
平成27年	0	0	302	302
平成26年	0	0	406	406
平成25年	0	0	444	444
平成24年	0	0	529	529

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13 事故等級別事故発生件数

(平成29年12月末現在)

年	級 A級	B級		C級			合 計
		B 1級	B 2級	C級	C 1級	C 2級	
平成29年	(0)	(2)	(8)		(94)	(652)	(756)
平成28年	0	6	5		109	827	947
平成27年	0	5	36	718			759
平成26年	0	7	37	749			793

※1 B 1級事故は、B級事故からB 2級事故を除いたもの。B 2級事故は、同一事業所において事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC級事故（平成28年以降は、同一事業所においてA級事故、B級事故又はC 1級事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC 1級事故）。

※2 C 1級事故は、C級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多重漏えいが発生した事故。C 2級事故は、C級事故からC 1級事故を除いたもの。  
C級事故=C 1級事故+C 2級事故

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13-1 事故等級別事故発生件数【災害】

(平成29年12月末現在)

年	級 A級	B級		C級			合 計
		B 1級	B 2級	C級	C 1級	C 2級	
平成29年	(0)	(2)	(8)		(93)	(406)	(509)
平成28年	0	6	5		109	456	576
平成27年	0	5	36	416			457
平成26年	0	7	37	343			387

※1 B 1級事故は、B級事故からB 2級事故を除いたもの。B 2級事故は、同一事業所において事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC級事故（平成28年以降は、同一事業所においてA級事故、B級事故又はC 1級事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC 1級事故）。

※2 C 1級事故は、C級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多重漏えいが発生した事故。C 2級事故は、C級事故からC 1級事故を除いたもの。  
C級事故=C 1級事故+C 2級事故

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。